

保護者のみなさまへ

令和4年9月30日
河内長野市立千代田小学校
校長 佐渡 芳宏

令和4年度「全国学力・学習状況調査」「すくすくウォッチ」の結果について

秋晴れの心地よい季節となりましたが、保護者の皆さまにおかれましてはご健勝のことと存じます。平素は本校の教育活動にご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、今年4月19日（火）に6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を、4月22日（金）に5・6年生を対象に「すくすくウォッチ」を実施しました。本調査は、児童の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証することで、児童における教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。調査の結果より、子どもたちがそれぞれの学習の到達状況を知り、今後の学習の改善につなげてほしいと考えています。また、学校でも児童一人ひとりの学力を向上させるための教育活動を見直し、課題改善のための取り組みを進めていきます。

6年生 学力・学習状況調査の概要

<国語>

概要

平均正答率は、府・全国と比較して、下回っていた。前半の大問①、②の正答率は府・全国と比べてほとんど上回っていたが、後半の大問③の正答率が府・全国と比べて大きく下回っていた。

特に成果が見られた問題例

①四の一定の条件を踏まえて自分の考えをまとめる問題では、府・全国の平均を大きく上回っていた。②の物語読解では、登場人物の気持ちや物語の全体像を考えて読むことができていること、正答率も府・全国を上回っていた。

特に課題が見られた問題例

①一の問題では、誤解されやすい同音異義語を説明している問題の意図を捉えられていない。③一以降の6問では、無回答率が高かった。前半の問題の内容把握に時間がかかり、後半の問題では時間が足りずに無回答が多くなってしまったと考えられる。

<算数>

概要

平均正答率は、府・全国と比較して、やや下回っていた。全体的に無回答率が高かったが、特に記述式での無回答が多かった。情報量の多い問題になると、正答率が下がっている。

特に成果が見られた問題例

①(2)・(4)、②(3)の選択問題の正答率が、府・全国よりも高かった。基礎基本の計算は、定着していると考えられる。

特に課題が見られた問題例

問題文や表・図から必要な情報を読み取り、活用する力が弱い。長文を理解し、図形をイメージする力が弱い。

<理科>

概要

平均正答率は、府・全国と比較して下回っていた。府・全国と比較して、正答数が6問以下の下位層が多くなっている。問題形式が記述式になると、無回答率が高くなる。

特に成果が見られた問題例

①(3)昆虫かどうかを判断するためには、体のつくりに着目することは分かっている。②(1)メスシリンダーの器具名を答える問題では、正答率が府・全国を10%以上上回っていた。③(4)問題に対するまとめを読み、その根拠を実験の結果を基にして記述する問題では、府・全国ともに正答率を上回った。

特に課題が見られた問題例

結果を分析し、具体的な数値に基づいて結論の根拠を記述することに課題がある。また、長文を読み、問われている内容を正確に理解したり、複数の資料から正確に情報を読み取ったりすることに課題がある。

<すくすくウォッチ（教科横断的な問題わくわく問題）>

概要

全体平均正答率は、本校69.2%、府69.0%で大阪府を上回った。選択制の問題は大阪府より正答率が高かったが、図や表の問題や記述式の問題は、大阪府より正答率が低かった。自分の考えを記述する力に課題がある。

特に成果が見られた問題例

問題の文章や会話、図や表などから題意を読み取って、問題を捉える力がついてきており、大阪府の平均正答率を上回った。記述式の問題では無回答も多く見られたが、昨年度と比べると無回答率は下がっている。

特に課題が見られた問題例

問題文の読み取りが概ねできていても、そこから考えられることを思考して自分の言葉で伝えることが苦手である。特に、理由や根拠を明確にすることや自分で考えたことを分かりやすく伝えることが難しい。論理的に考えていく習慣が身に付いていない。資料から情報を整理して伝える、理由や根拠を明確にして伝える力に課題があるため、無回答が多くなっている。

5年生 すくすくウォッチの概要

<国語>

概要

全体平均正答率は、本校67.4%、府76.8%と府を下回った。思考・判断・表現についての正答率も、本校68.5%、府73.8%と少し下回った。

特に成果が見られた問題例

問題文と同意の文を選択する問題はできていた。言葉の特徴や使い方（漢字・こそあど言葉・対義語など）の問題では正答率が高かった。

特に課題が見られた問題例

ことわざの意味を問う問題、ローマ字の問題、言葉の特徴や使い方（主語と述語の関係・文末表現など）の問題は、正答率が低かった。問題後半になるにつれて、無回答率が高くなっている。

<算数>

概要

全体平均正答率は、本校34.3%、府42.0%と府を下回った。思考・判断・表現についての正答率も、本校24.7%、府29.8%と少し下回った。

特に成果が見られた問題例

時刻と時間の概念は理解できており、生活に関連付けて問題を考えることもできている。

特に課題が見られた問題例

問題文や表・図から必要な情報を読み取り、活用する力が弱い。記述式の問題では、必要な情報を入れながら理由を説明する力が弱く、また、無回答率も高くなっている。

<理科>

概要

全体平均正答率は、本校 62.2%、府 72.2%と府を下回った。知識・技能、思考・判断・表現ともに府と比較して下回った。

特に成果が見られた問題例

風の強さとももの動き方の関係を問う問題と乾電池の向きとモーターの回る向きとの関係を問う問題は、正答率が80%を超えている。

特に課題が見られた問題例

回路を図示する力、直列つなぎと並列つなぎの違いについての理解に課題が見られた。また、資料やグラフの読み取り、学習したことと日常生活とをつなげて考える力に課題がある。

<すくすくウォッチ (教科横断的な問題わくわく問題) >

概要

全体平均正答率は、本校 51.4%、府 60.0%で府を下回った。観点別にみても、全項目で正答率が府平均を下回っており、特にEの項目では、府と比較して正答率が大きく下回っていた。

特に成果が見られた問題例

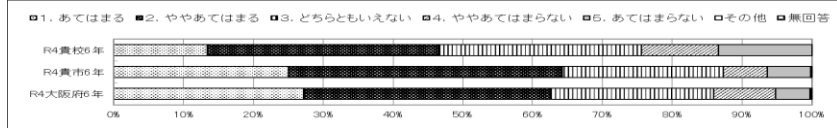
社会問題に対するメッセージ性を込めた問題においては、府同様に正答率が高かった。また、自分自身で考えたことを文章で伝えることもできていた。

特に課題が見られた問題例

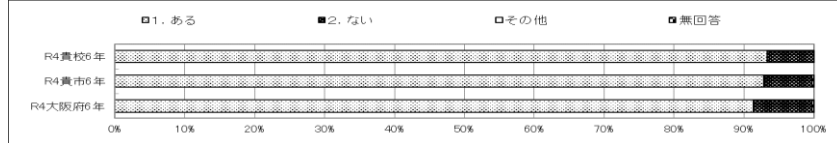
図や表、短い文章等の内容を関連付けて正しく捉える問題の正答率が低かった。さらに、全体的に見て、無回答の割合も府と比べて高かった。

6年生 アンケート

質問番号	質問事項													無回答	
4	難しいことがあっても、あきらめない														
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答	
R4貴校6年	13.3	33.3	28.9	11.1	13.3	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.0
R4貴市6年	25.0	39.2	23.0	6.3	6.2	--	--	--	--	--	--	--	--	0.1	0.1
R4大阪府6年	27.2	35.3	23.4	8.9	4.9	--	--	--	--	--	--	--	--	0.1	0.2



質問番号	質問事項													無回答	
65	家の中にホッとする場所がある														
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答	
R4貴校6年	93.3	6.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.0
R4貴市6年	92.9	6.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.3
R4大阪府6年	91.4	8.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.3



概要

多くの項目において府・市と比べて、肯定的な意見をもっている児童が少なかった。子どもたちの頑張りや成長を褒めたり、友達の良いところを見つけたりする活動を通して、自己肯定感を高めていかなければならない。

特に成果が見られたアンケート項目例

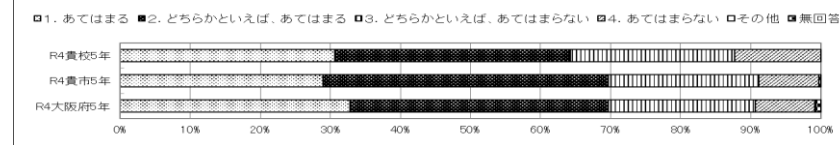
90%以上の児童が「家の中にホッとする場所がある」と答えていた。

特に課題が見られたアンケート項目例

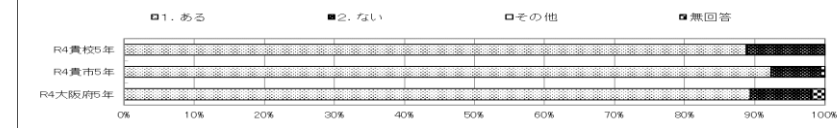
自己肯定感や粘り強さに関する質問では、肯定的な回答が府・市の平均を大きく下回った。また、ゲーム・スマホ・タブレットなどを使用している時間が4時間以上と答えた子の割合が高く、依存傾向にある児童がいることが懸念される。

5年生 アンケート

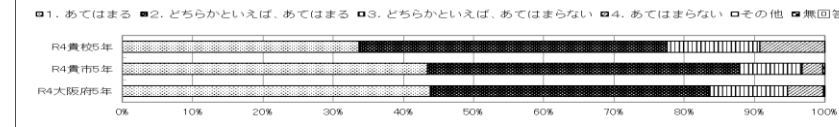
質問番号	質問事項													無回答	
40	その時間に学んだことについて、ふり返りをしている													28	
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答	
R4貴校5年	30.6	33.7	23.5	12.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.0
R4貴市5年	29.0	40.7	21.5	8.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.3
R4大阪府5年	32.8	36.9	21.1	8.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.1	0.7



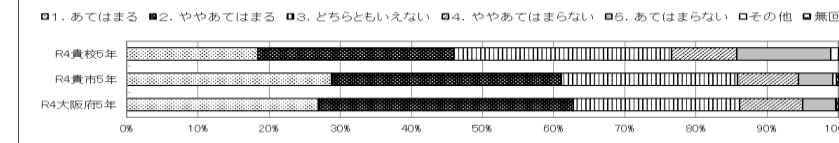
質問番号	質問事項													無回答	
65	家の中にホッとする場所がある														
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答	
R4貴校5年	88.8	11.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.0
R4貴市5年	92.4	7.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.6
R4大阪府5年	89.4	8.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.1	1.8



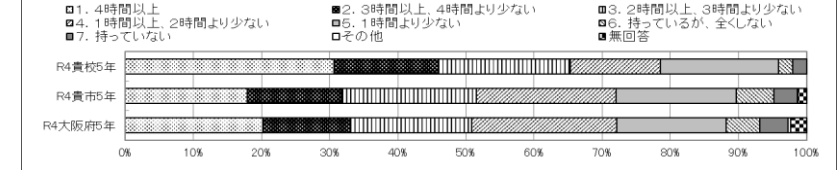
質問番号	質問事項													無回答	
1	「自分にはよいところがある」と思う														
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答	
R4貴校5年	33.7	43.9	13.3	9.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.9
R4貴市5年	43.4	44.4	8.9	2.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.3
R4大阪府5年	43.8	39.9	11.0	5.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0	0.2



質問番号	質問事項													無回答	
4	難しいことがあっても、あきらめない														
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答	
R4貴校5年	18.4	27.6	30.6	9.2	13.3	--	--	--	--	--	--	--	--	1.0	0.0
R4貴市5年	28.7	32.3	24.8	8.5	4.9	--	--	--	--	--	--	--	--	0.4	0.3
R4大阪府5年	26.9	35.8	23.4	8.8	4.6	--	--	--	--	--	--	--	--	0.1	0.3



質問番号	質問事項													無回答
68	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれぐらいの時間、学習以外(ゲームやSNS等)にスマートフォンやタブレット等を使っていますか													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R4貴校5年	30.6	15.3	19.4	13.3	17.3	2.0	2.0	--	--	--	--	--	0.0	0.0
R4貴市5年	17.9	14.0	19.6	20.5	17.7	5.5	3.5	--	--	--	--	--	0.1	1.2
R4大阪府5年	20.2	12.8	17.9	21.3	16.1	4.9	4.2	--	--	--	--	--	0.4	2.3



概要

多くの項目において府・市と比べて、肯定的な意見をもっている児童が少なかった。友達との関わりにおいても、学習においても関心が高くないという結果だった。また、「どちらともいえない」という項目がある場合、それを選択する割合が高く、自信をもって自分を肯定的に捉えられない傾向にある。子どもたちの頑張りや成長を褒めたり、友達の良いところを見つけたりする活動を通して、自己肯定感を高めていかなければならない。

特に成果が見られたアンケート項目例

授業の振り返りの取り組みを学校全体で推進してきたことで、昨年度と比べて「あてはまる」と答えた割合が15ポイント上昇した。また、90%近くの児童が「家の中にホッとする場所がある」と答えていた。

特に課題が見られたアンケート項目例

アンケート結果から、自己肯定感の低い児童や粘り強く課題に取り組むことが苦手な児童の割合が高いことが分かった。また、ゲームやスマホなどを長時間使用している子の割合も高く、依存傾向にある児童がいることが懸念される。

結果を受けて

<学校が重点的に取り組んでいくこと>

「考えて書く」場面をできるだけ多くとるような授業改善を行っていきます。自分の予想や解き方を文章や図を用いて書き、友達に自分の言葉で説明する、そして学んだことを自分でまとめる活動を大切にしていきます。また、ゲームやスマホの使用に関しては、ルールを決めるなど学校と家庭が連携して取り組みを進めていきたいと考えています。

<児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと>

自分で考えることを大切にしましょう。考える力をつけるためには「考える」習慣をつけなくてはなりません。分からないことや難しいこともあきらめずに、粘り強く自分で考えたり調べたりしましょう。

<保護者のみなさまに協力してほしいこと>

学習面はもちろん、生活の中での小さな頑張りを見逃さず褒めてあげてください。途中で投げ出しそうになった時には、励ましの言葉をかけてあげてください。そして、常に見守っていることを伝えてあげてください。